

行政報告・教育行政報告

行政報告（町長）

■ニセコひらふ安全センターについて

建物オーナー様よりこれまで、多大な協力を頂き、臨時交番として運営されていた安全センターは、今年5月で10年の節目を迎える。

観光中核施設建設予定地に一時使用が可能な建物を借り上げ、移動する事になり、約1000万円を予算計上した。

■放課後児童クラブの状況について

今年6月の定例議会で陳情が採択されたのを受け、各小学校と協議・検討を続けてきた。

結果、補助教室を確保してもらえ、こととなった。

児童クラブの支援員が不足しているが、待機児童が多い西小学校から受け入れ拡充を開始している。今後、他校での拡充のため、支援員を募集して対応していく。

■北海道新幹線

これまで掘割式（半地下）の構造で話されていた新駅だが、7月22日に新駅周辺の高架化が国に認可され公表された。

今後はそれに伴う詳細設計・用地測量等が見込まれ、屋根形式についても雪対策委員会の議論を経て提示されると考える。

平成26年度から設置している「新幹線まちづくり検討委員会」で駅周辺のゾーニング、駐車場、道路ネットワーク等、今後の課題整理を議論していく。

■双葉ダム関連事業について

農水省から委託を受け管理している当該ダムは、26・27年度に取水の不具合を修繕してきた。しかし漏水は収まらず、本年度中に国営施設応急対策事業として実施する事で進めている。

今後は、40年以上経過したダムであることや、農業形態の変化、管理の合理化の必要性から再編を行うために準備を進めている。

平成30年度までに「中後志地区」として地区調査を行い、終了後10年間を目途として取水塔の全面改修などを行う予定。

■台風10号の被害について

町内では風倒木被害が合計60本あった。

農業関係では、スイートコーンや蕎麦が半倒伏、デントコーンや小豆なども一部半倒伏となったが、収穫には影響がないと捉えている。

その他、ビニールハウスの倒壊が1件、倉庫の全壊など5件の被害状況となった。

教育行政報告（教育長）

■学校給食センターについて

新給食センターの建設は、10月末の完成に向けて、大型備品の搬入が行われている。給食調理業務の委託は、公募プロポーザルにより選定中で、4社からプレゼンテー

ションを受け、9月末には選定する予定。

■児童生徒の通学路における安全対策

「俱知安町通学路交通安全プログラム」に基づき、11の危険箇所を合同点検し対策を進めていく。

■社会教育関連

公民館では「ことばでつながるまちづくり事業」で町民向け英語研修を開催している。

また、俱知安青年会議所と共催で「次世代につながる新たなまちづくりフォーラム」や「地域力の

創出」などのフォーラムを実施している。

■小川原脩美術館・俱知安風土館

美術館の重点事業「納屋」の修復業務を行っており、3月末までに終了予定。また、小中高生について、長期休み期間は入館料無料化を実施。

風土館では、酪農学園大学との連携事業として俱知安周辺フィールドワークの受け入れを8月より始めている。



酪農学園大学とのフィールドワーク